

# 茅十九回 明月之會

平成二十九年五月五日(金・祝)

午後二時半始

於・国立能樂堂

東京都渋谷区千駄ヶ谷四一八一

☎〇三(三四二二三)一三三三

番外曲  
独吟 伏木曾我 加藤 真悟

仕舞 融 梅若万三郎

狂言 伯母ヶ酒 野口 隆行

能 江口 加藤 真悟

千之掛



# 第十九回 加藤眞悟明之會

平成二十九年五月五日(金・祝)  
午後一時半始  
於・国立能楽堂

解説

表きよし  
(国士館大学  
21世紀アジア学部教授)

(二時五十分頃)

独吟

番外曲

## 伏木曾我

加藤 眞悟

仕舞

## 融

梅若万三郎  
中村 政裕  
伊藤 嘉章  
中村 裕  
地謡  
八田 達弥

融(とおる)：旅僧が都の河原の院の旧跡を訪ねると汐汲み老人がやってくる。奥州塩釜の浦を偲び、難波の浦から海水を運ばせ塩を焼かせたことを語り老人は消えてしまふ。中入後、融の大臣の霊があらわれて舞を舞い、月の景色をめめているうちに明るくなり、融の霊はやがて月の世界に去っていく。

(二時五十分頃)

狂言

## 伯母ケ酒

野口 隆行  
シテ 甥  
アド 伯母  
奥津健太郎

伯母ケ酒おはがさけ...酒屋を営む伯母(アド)を甥(シテ)が訪問するが、伯母はまだ一度も酒をふるまってくれないので、何とか飲ませてもらうと試みる。甥は付近に鬼が出るから注意するよう言い、帰るふりをして鬼の面をかぶり伯母の所に行く...

(二時五十分頃)

能

## 江口

干之掛

前シテ 里女 加藤 眞悟  
後シテ 江口ノ君  
ツレ 遊女 長谷川晴彦  
ツレ 遊女 青木 健一  
ワキ 旅僧 安田 登  
ワキツレ 従僧 高橋 正光  
ワキツレ 従僧 吉田 祐一  
間狂言 里人 奥津健太郎  
笛 松田 弘之  
小鼓 幸 信吾  
大鼓 亀井 広忠

休憩二十分

主催 加藤眞悟明之會  
(終了時間四時五十分頃)

### ◆事前講座のご案内

「江口」の能面・装束を鑑賞し、舞台進行、見どころをお話しします。

日時 H.29.4月22日(土)午後2時〜4時  
会場 眞謡会田端教室稽古場  
(東京都北区田端3-21-5)

お話し 加藤眞悟  
参加費 1,000円  
(チケット購入者・友の会会員は半額)

### 伏木曾我

父の敵を討つた曾我十郎祐成の墓所を訪ねる大磯虎と従者が井出の里に着くと、狩人が祐成の墓所を案内する。中入後、虎の夢中に祐成の霊があらわれ、幼い頃の不遇を語り、富士の狩場で敵の工藤佑経を見ながらも馬が伏木に足をとられ転倒してしまつたが、夜中に佑経の館に忍び込み本望を遂げたことを語ると虎は夢から覚めてしまふ。  
平成28年11月「湘南ひらつか能狂言」にて復曲。

### 江口

旅の僧(ワキ)が、摂津の国・江口の里で遊女江口の君の墓前で雨宿りを断られて西行法師と遊女の歌の問答を偲ぶと、女(前シテ)が「それはただ惜しんで拒んだのではない」という。この女こそ遊女江口の君の亡霊であつた。  
その夜、僧が読経をして吊っていると、月下の川の水面に船影が浮かび、遊女の歌声が聞こえてくると、この世の無常を語り舞を舞う(序之舞)。やがて船は白い象、遊女は普賢菩薩となつて西の空に去っていく。  
小書の干之掛(カンノカカリ)では、序之舞の序の後に高い調子の笛の演奏が入り、品格の高い序之舞になる。



加藤眞悟(かとうしんご)：昭和33年生。故二世梅若万三郎及び三世梅若万三郎師に師事。観世流準職分。日本能楽会会員(重要無形文化財 能楽の保持者)。日本大学文理学部哲学科卒。在学中に現梅若万三郎師に師事し、昭和62年より梅若研究会例会にてシテを勤める。同年能楽養成会教程終了。各地にて能の普及に努め、海外公演にも多数参加。平成25年新作能「将門」(梅若万三郎監修、小林保治作)、26年復曲能「真田」・28年復曲能「伏木曾我」共に梅若万三郎監修の初演のシテを勤める。平成11年より毎年「明之會」を開催する。「眞謡会」を主宰して愛好者に謡仕舞の指導をしている。  
(公財)梅若研究会理事、(公社)能楽協会東京支部常議員

#### 【入場料】

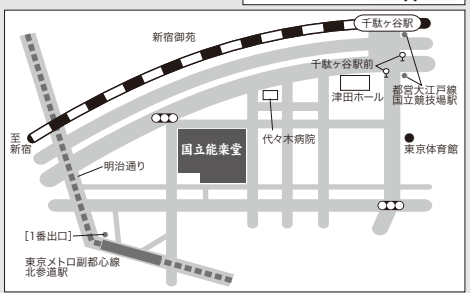
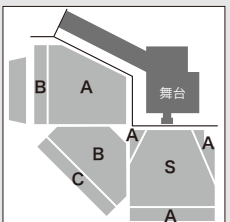
- 指定席S 九,000円
- 指定席A 七,000円
- 指定席B 五,000円
- 指定席C 三,000円
- 学生割引 各一,000円引き(25歳まで)

#### 【お問い合わせ・お申し込み】

加藤眞悟 045(481)8704  
携帯090(4178)0820  
ウェブサイト <http://katoshingo.com/>  
携帯メール [shingo555kato@ezweb.ne.jp](mailto:shingo555kato@ezweb.ne.jp)  
梅若研究会 03(3466)3041

#### 明友の会会員募集

入会金一,000円/年会費一,000円  
特典  
・明之會公演の入場料一割引(一会員三席まで)  
・会報や演能、勉強会のお知らせなどお届けします



能楽体験講座  
能の話、謡と舞の基本の型の体験をします  
『鶴亀』を謡ってみよう

日時 ■平成29年6月1日(木)、7月6日(木)、8月3日(木)、9月7日(木)、10月12日(木) 各午後1時〜2時半  
会場 ■眞謡会田端教室稽古場 北区田端3-21-5(駒込駅徒歩7分)  
講師 ■加藤眞悟  
受講料 ■20,000円(5回)、教材費3,950円(観世流初心謡本(上)五番綴)が別途かかります。  
●ご予約・お問い合わせ 上記 加藤眞悟まで